

市役所新庁舎整備に関するイメージ図等

これまでいただいた主なご意見等

- ★ **高層の建物なので、非常時の避難対策に心がけてほしい。**
 - ⇒ 新庁舎に非常用発電機を設置することにより、停電時でも、一定の時間エレベーターは稼働します。さらに、2階に避難用滑り台を設置し、来訪された市民の方々や、体の不自由なの方々などが、容易に避難できるようにします。
- ★ **災害時でも行政機能の維持に努めてほしい。** ※
 - ⇒ 現在の地盤をさらに5mほどかさ上げ盛土を行い、TP17mにし、新庁舎は、鉄筋コンクリート造、免震構造とすることにより、東日本大震災クラスの地震、津波でも、建物に損傷がないように整備を行います。
 - なお、非常用発電機や住基データなどを管理する電算室等を屋上に設置し、有事の際においても、行政機能が継続できるようにします。（※TP：東京湾平均海面）
- ★ **旧館の沖庁舎は駐車場が狭かった。駐車スペースを広く確保してほしい。**
 - ⇒ 来客用駐車場については、旧館の沖庁舎の駐車台数50台上回る123台を整備予定。
 - なお、職員駐車場は敷地外に配置します。
- ★ **市民が多く訪れる部署を低層階に配置してほしい。**
 - ⇒ 窓口部門（市民課、税務課、保健課、地域福祉課、子ども子育て課、水道事業所等）を1、2階に配置します。
- ★ **木質化を図ってほしい。**
 - ⇒ 構造は鉄筋コンクリート造としますが、内装はできるだけ木質化を図ります。
- ★ **将来負担が少なくなるように整備してほしい。**
 - ⇒ 新庁舎整備に要する事業費については、約50億円を予定していますが、そのうち国からの財源として、震災復興特別交付税など約48億円を活用し、市の負担の軽減に努めます。
- ★ **女性用トイレに子ども用の小便器を、また、男性用トイレにもおむつ替えのスペースを設置してほしい。**
 - ⇒ 誰にもやさしい、利用しやすい庁舎を目指しており、多目的トイレとあわせ整備をします。
- ★ **用事なくても行ってみたくなる庁舎にしてほしい。**
 - ⇒ 1階に市民交流スペース、キッズコーナー等を設け、高層階には、展望ロビー等を配置し、誰もが気軽に訪れ、利用できる施設の整備を行います。
- ★ **環境に配慮した整備に努めてほしい。**
 - ⇒ 太陽光発電、自然の光や風などの自然エネルギーを活用した施設の整備に努めます。

新庁舎イメージ図



施設概要

- 1 施設の延床面積
約5,600㎡（地上7階）
※ 旧館の沖庁舎と同程度。
- 2 主要構造
(1) 鉄筋コンクリート造
(2) 免震構造
- 3 駐車台数
181台
(来客用123台、公用車用58台)
※ 来客用駐車場は、旧館の沖庁舎の駐車台数（50台）を上回る台数を確保。
電気自動車充電設備を設置。
※ 職員駐車場は、近隣に別途確保。